

ぎかい



2024.10.17

小国町議会だより 第162号

に返ろうとしていきます。ただ閉じていく過程で、体に脂肪がついたため、妊娠前と同じ位置に戻るケースは非常に少ないと言われます。ここでゆがみが出ると腰痛が起こったり、歩行に悪影響が出てしまったりするため、産褥期を過ぎたら骨盤矯正をすることをおすすめしています。足腰の痛みは避けられても、内臓が下垂してポッコリ下腹の原因になることがあります。また、骨盤のずれを補強するために下半身に脂肪がつきやすくなり、洋ナシ体形に変化することもあります。骨盤のズレやゆがみが、姿勢に大きな変化が出ますし、血行不良の原因になります。体の冷えが強くなり、さらに脂肪がついてしまいます悪循環が引き起こされます。

2. 全身マッサージ
3. リラックス効果
4. 不調の改善
5. 腹戻す

大人気メニュー
・骨格・骨盤調整+自律神経(首/頸椎調整)
・下肢関節調整+足裏
80分
円



韓国から

小国へ



スマホ

からご覧
いただけます!



表紙関連記事は16ページ

令和5年度決算 全会一致で認定!

主な内容

- 定例会 2ページ～
- 各課決算審査 4ページ～
- 一般質問5名登壇 9ページ～
- 議会だより広告募集 15ページ

命化対策に向け!! 7億5738万円可決

9月定例会 あらまし

9月定例会は9月5日から18日までの14日間の会期で開会された。初日に町長から補正予算6件、条例案件3件、決算認定12件、その他3件が一括上程された。次に令和5年度決算審査特別委員会の正副委員長が互選された。5名の議員が一般質問を行った。

その後3日間に渡り、各課決算を審議し審査結果を取りまとめた。その結果、令和5年度決算においては全議員賛成で認定された。最終日には、人事案件2件、契約案件1件が追加され、全議案賛成多数とし定例会を閉会した。

主な内容	役場庁舎空調改修工事 1億6500万円
総務費	ガバメントクラウドネットワーク構築業務 1300万円
民生費	児童福祉扶助費 1202万円 (所得制限の撤廃、支給対象年齢の延長、第三子以降の手当増額等)
農林水産業費	飼料価格高騰対策支援事業 378万円 カラス生態及び捕獲状況調査業務 45万円
商工費	梅花皮荘・川入荘・りふれ改修工事費 5515万円 旧ゆーゆ建築物石綿含有建材調査業務等 236万円
土木費	町道若山金目線道路補修事業 1700万円
教育費	町民体育館高圧電気設備改修・アスネット長寿命化工事等 2100万円

人事

●小国町教育長
今 秀之氏(新任)
小国町大字舟渡
任期 令和6年10月15日から
令和9年10月14日

●小国町教育委員
鈴木 良典氏(新任)
小国町大字小国小坂町
任期 令和6年10月1日から
令和10年9月30日

主な条例

◆小国町勤労者住宅設置条例の一部を改正する条例の設定
勤労者住宅の住宅使用料一万六千円を二万円に改正

契約

令和5年度繰越社会資本整備総合交付金事業
町道西田沢頭線門前橋下部工事請負契約
小国開発株式会社
代表取締役 柿崎清隆

工期 令和7年
2月28日完成
金額 7227万円

陳情

◆母(王乖彦)が中国で不当に逮捕されている件に関する陳情

陳情者 東京都荒川区東日暮里6-54-4メゾンドール403 張一文

◆国民の命を守るために早急に日米地位協定の抜本的改定を求める意見書の提出についての陳情

陳情者 鶴岡市水沢字行司43-13 沖繩に応募する会
代表 漆山ひとみ

観光交流施設等の長寿 一般会計補正予算総額



アスネット外壁・エアコンなど改修
WI-FI環境を整備



健康の森横根展望台への道路修繕



照明等の点検で不具合修繕



横根スキー場のリフト沿いの
支障木の伐採



白い森交流センターりふれ及び
木工館の高圧ケーブル等の更新



飯豊梅花皮荘のエレベーター、
施設内通話整備

令和5年度決算は 認定に値するか



渡邊重信委員を委員長とし安部議長、石山
監査委員を除く8名の議員で決算特別委員
会が行われた。全会一致で認定された。

総務企画課

Q 「居住環境づくり調査事業」において、調査結果はどのようなものか。

A 町内の賃貸住宅、集合住宅の不足ということで、企業の人事確保にも影響がある。また移住のためにも必要な取り組みとして専門機関に委託して実施した。

課題として、若者の単身者向け居住ニーズへの対応が挙げられた。また、中長期的な取り組みや先導的な取り組みの提案があった。空き家のリノベーションや官民一体となった集合住宅の整備を検討していく。

Q 「メンタルヘルス研修」の成果は。

A メンタルヘルス研修は、職員の心の健康のためにも重要であり、毎年実施している。成果というより、職員のメンタル不調予防に向け、メンタルヘルスケアの一環として継続して行っている。

Q 次期総合センター整備事業では、交付金、過疎債を充てても一定の自主財源が必要になる。そのために次期総合センター整備基金を積み立てていると思うが、現在の基金残高は。また基金の積み立て目標はあるのか。

A 基金残高は、R5年末時点で、1億1千万円である。積み立て目標を持っているわけではなく、国の交付金や有利な起債を

組み合わせ、財源確保をしていきたい。

町民税務課

Q 小国町防犯協会への交付金の内容は。

A 協会の予算総額は、87万9千円であり、内訳としては、各世帯からの会費で7万5千円、町交付金で、11万円、その他雑収入となっている。主な活動としては、少年の主張大会、防犯広報作品コンクール、各地区支部からの要望に沿って実施している防犯灯のLED化への助成などである。町防犯活動の拡大及び各地区防犯灯の整備が進められている。

Q 災害用備蓄品事業で令和5年度の執行率が少な

いようだが、今後、備蓄品をどう配備計画していくのか。また、使用期限が近いものは処分も含めどのような計画か。

A 500人3日分の食料を備蓄している。生理用品、大人こどものおむつ、感染対策用品も備蓄している。使用期限が過ぎたものから更新している。

期限を迎える前には防災訓練で参加者に配布して機運醸成につなげていく。水は期限が過ぎても避難所のトイレや生活用水として使えるため、しばらくは備蓄している。

Q 500人3日分としている根拠は。旧冲庭小学校には50人3日分が備蓄されている。地区内の住民の数からすると足りないのでは。

A 根拠としては指定避難所が7カ所あり、それぞれに想定避難者数がある。全町民数からすれば少ないが、避難所の受け入れスペースや、町内全域で避難者ができるとは想定していない。また大規模な災害発生時には、国などからの支援を想定している。



旧冲庭小学校の備蓄品

地域整備課

Q 配水管老朽化の漏水の修繕について、どのような調査を行って優先順位をつけているのか。

A 以前は路面に水が噴き出してきたときに、漏水として情報をいただいて修繕を行っていた。現在は漏水調査業務を調査会社に委託し、表面に吹き出てこない漏水も把握し、影響の大きなところから修繕している。

町の主な配管は埋設から40年経過しているので、それを踏まえ調査のうえ排水管の口径など影響の大きいところから、すべての給水管を修繕している。

農林振興課

Q 令和6年3月末の鳥獣被害対策実施隊員数が89人に減少しているがその理由は。

また、狩猟免許及び銃砲所持許可取得費用交付金が前年の6件から4件に減少していることに対してどのように評価しているか。

A 猟友会の高齢化が進んでおり、実施隊員となるための要件である狩猟登録を行わない方が増えていることなどから、任命人数が減少している。

交付金は、狩猟免許や銃砲所持許可を新規に取得する方を対象としており、毎年人数は変動しているが、傾向としては増加傾向にあると

捉えている。

Q 令和3年、4年と市野沢地区で緩衝帯を整備した際には鳥獣被害対策に効果があったと伺っている。令和5年度に整備した田沢頭地区での効果は。



田沢頭地区の緩衝帯

A 市野沢地区同様、田沢頭地区においても緩衝帯の効果が出ていますと報告を受けています。鳥獣被害防止対策は、緩衝帯の整備や電柵の設置、追い払いなどを複合的に実施することで効果が高まるこ

とから、今後も継続していききたい。

Q 有害鳥獣被害対策事業で、実施隊の日当はいくらか。

A 実施隊の報酬は、特別職の職員の給与に関する条例で規定している。

令和5年には、クマが大量に出没し例年と状況が異なったことなどから、

日当のほかに猟友会に有害捕獲支援業務を委託し対応を図った。

るか。

A (株)グリーンシグマには、

一人から二人の方に、全体指示や管理全般作業を担当いただく形で委託している。シルバー人材センターには、二人から三人の作業員による除草作業等を委託している。期間中週1回の作業を行っている状況である。

Q 森林サービス産業におけるエビデンス取得ツアーについて、参加者の状況と今後リーダーにながるような要素はあったのか。

A 首都圏から8名が参加し、生産性や睡眠の質などの検証について産業医から分析を行ってもらった。結果をもとに作成したリーフレットを企業に送付している。

Q 道の駅花広場管理事業については、環境整備等をシルバー人材センターと(株)グリーンシグマに委託しているようだが、その頻度等は執行予算に見合った活動となっているか。

また、モニターツアーでは、芋煮作りやマタギ文化を学ぶプログラムの満足度が高かった。地域の方のご協力が必要だが、実施体制の整備が今後の課題である。

Q プレミアム商品券発行事業では、町内の商店の活性化や、事業承継にどの程度の効果があったのか。

A この事業は、これまで10年以上も継続し町に定着している。事業の効果としては約5500万円の消費につながっており、経済効果としては大きい。ただし、直接的に事業承継につながっているかについては難しいと考えられる。さらに、この事業は、紙ベースである為、

銀行の引換手数料が高額となるなど、換金事務に係る負担が大きな課題となっている。

教育委員会

国内及び国外の移動にかかる交通費・燃料サーチャージ、空港使用料等である。

Q スポーツフェスティバル等の開催については、地域の環境が変わっている状況を踏まえ開催方法の検討はなされたか。

A スポーツフェスティバル等の開催にあたっては、事前に地区の体協等と協議した。どのような内容であれば、多くの地区、町民に参加してもらえるか話し合い、目的に合った開催方法を検討していく。

Q 小国高等学校短期留学事業補助金の用途は何か。

A 一人20万円で2人分を補助した。対象経費は、



短期留学の様子

Q 歴史民俗資料館の保険料は何に対する保険か。

A 協力隊員が使用する車の保険料である。民俗資料には保険はかけていない。

健康福祉課

Q 民生委員の活動日数や訪問回数が令和4年度に

比べ減っている。訪問した記録は委員からどのように報告を受けているのか。

A 民生委員は担当地区での活動を行い、年度によって増減がある。訪問の対象者の死亡や施設への入所、転出があったことで減少したと思われる。

活動報告は「民生委員児童委員協議会」の事務局である社会福祉協議会に翌月5日まで提出している。集計後、健康福祉課へ活動内容の詳細ではなく、件数を報告することとなっている。

Q 福祉カルテの効果は健康福祉課の目的に沿った内容であったのか。

A 福祉カルテは、災害時や緊急時に地域の支援を受けられるように作成す

るものであり、令和5年度末の登録者は471件、新規22件、削除50件、内容の更新128件を行った。令和4年度末と比較すると、28件減少している。引き続き新規登録の増加に取り組みたい。

Q 令和5年7月に子育て支援センターがアスモ内に開設された。利用者の声は。

A 町中心部に立地し屋内駐車場を有することで利便性が向上した。これまでは旧おぐに保育園の中にあつたため、入りにくい面もあつた。現在は独立した施設であることから、利用者には好評である。里帰り出産の方にも利用いただいている。

訪問看護 ステーション

Q 訪問看護事業で時間外訪問を減らすように課題を解決しながら負担減としたが、どのように解決したのか。

A 令和4年度まではコロナの影響で利用者の実人数が増えていた。それまで利用者に対して職員を担当制にしていたが、効率が悪く負担が多くなった。これを地域割グループ制に変更し、効率化した。

職員が変わることで利用者が不安にならないために、しっかりとコミュニケーションをとり対応していきたい。また、夜間の緊急対応を減らせるように日中に利用者の観察の対応を行うことも検討した。

決算特別委員会報告書 (要旨)

一般会計では、法人町民税は減少したものの、大型設備投資によって固定資産税が大きく伸び、税収全体では近年の最高額を記録した前年度をさらに1.3%上回る12億9百万円が確保されるなど、歳入総額は対前年比1.5%増となる81億4千9百万円となった。

一方歳出では、令和4年の災害関連復旧事業の本格化や新総合センター建設に伴う経費等により、総額で対前年比3.8%増となる76億2千3百万円が支出された。

令和5年度各会計決算12件については、次の意見を付し認定すべきものと決したので、小国町議会会議規則第41条の規定により報告する。

- 1 中心部から離れた地域ほど、自治組織としての運営が厳しくなっている。地域支援職員派遣事業において、北東部地区の取り組みは一定の成果が得られていることから、全庁的な推進体制のもと速やかな町全域への広がりを期待する。
- 2 森林サービス産業推進事業は補助対象期間のうち2年が終了した。事業効果を検証したうえで、しっかりとした町内関係者との連携を図り、残り1年で当初の目的どおりの効果が得られるよう進めること、またその成果が後年度のまちづくりに着実に活かされることを望む。

令和6年9月17日 決算審査特別委員会 委員長 渡邊重信

定例会一般質問とは？



議員が地方公共団体の事務について、執行機関に対し、事実または所信を質すこと。

一般質問は議題と関係なく行財政全般にわたる議員主導による政策論争であり、質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要である。議員には他の発言と違って、執行機関に対する事前の通告制が採用される。

どなたでも傍聴できます。是非お越しください！

渡邊重信議員

9ページ

- 1 白い森ブランド構想について

間宮尚江議員

10ページ

- 1 「小国町の価値を高める」施策について

柴田伸也議員

11ページ

- 1 第五次小国町総合計画基本構想について

遠藤和彦議員

12ページ

- 1 今年度の農業情勢について
- 2 クーリングシェルターについて

小林嘉議員

13ページ

- 1 温身の郷の統合について

町政を質す

一般質問5名登壇



本会議及び一般質問の内容は、インターネットで録画をご覧ください。





政策実現の為の情熱と熱意、本気を望む



わた なべ しげ のぶ
渡 邊 重 信 議員

おぐにブランドの推進は

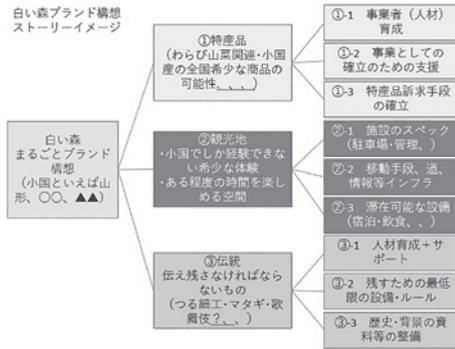
渡邊 町長が就任以来白
い森ブランド構想を推し
進め、稼ぐ力の醸成のた
めに取り組んでいるが、
決め手となる施策を町民
が明確に理解していな
い。二期八年経過しても
町民全体への周知や情報
発信力に課題があると考
える。何を「おぐにブラ
ンド」として推進し周知
しているのか。また、明
確な定義や規格設定が必
要ではないか。

白い森ブランド構想はま
ちづくりの理念

町長 豊かな自然や風
土・生活・文化、多様な
人材が生み出す農林水産
物、教育や福祉、防災
も含めた暮らしやすさ
の視点から住民満足度
の向上を図り広く発信
し、地域経済の発展を
目指している。
ブランドの定義や規格
設定は重要。差別化を図
ることは慎重に、何よ
りも認知度向上を優先し

ている。

地域総合商社の有効活用
を



渡邊 小国町として他との競争出来る体制づくりはできているか。白い森ブランド構想の今後の見通しと課題は。

経営基盤も整いつつある

町長 商社はふるさと納税、イベント参加や外販事業により、小国町を広くPRするとともに、町内業者との連携した商品開発にも努めている。
人口減少の加速と労働力不足、わらび生産日本

一は変わらないが、採取量、加工、料理、保存の伝承が危惧される。社会構造の変化に留意し対応していく。

ブランドづくりは町民の衆知(多くの人の知恵を集めること)が重要

渡邊 方向を定め、町民みんなで取り組むことが必要。失敗を恐れず失敗から学び成功に結び付けることも必要。成功を周知し取り組む体制づくりが必要ではないか。

町民と創り上げる政策を進めていく

町長 一朝一夕にブランドができる訳ではないが、町民の皆さんが挑戦し続けられる施策を創り上げる。

渡邊 町民が豊かな生活ができることが政治の役割。その旗振り役を期待する。今後も質していく。



職員研修を兼ね物品販売を展開中

1 「小国町の価値を高める」 施策に向けて



ま みや ひさ え
問宮尚江議員



子どもの最善の利益を保障するためには

問宮 子育てで選ばれる町を目指すため、子育て世代の意見をどのように収集、反映させていくのか。

子育て支援アプリ導入

町長 新生児訪問や乳幼児健診時における保護者からの課題解決のために「おぐにこ」の運用を開始した。

今年度策定する「第三期小国町子ども・子育て支援事業計画」では就学前児童から小学校6年生までの保護者対象にアンケート調査を実施する。

問宮 視覚障害、聴覚障害のある子どももそうでない子どもも共に過ごせる施設整備も望む。

「学校給食無償化」「中学校制服・水着の選択

制」の考えは

問宮 福祉的、義務教育としての観点から給食無償化を再度、求めたい。同じく多様性に配慮された教育の環境として制服の選択制導入を再度質す。

制服は協議中

教育長 保護者負担は給食費の食材費のみであり、他は町負担である。今後、質の高い給食提供を基本に理解を求めたい。

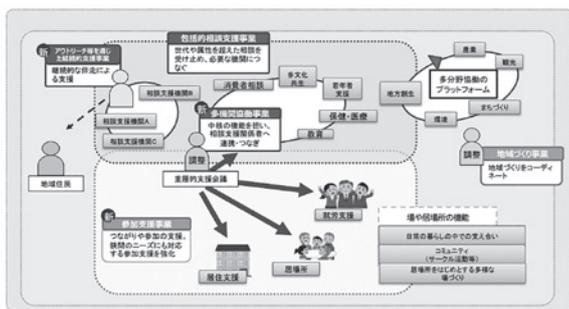
制服は、男女兼用となるブレザー型の導入も協議されている。今後も本町教育が築いてきた礎のもと将来への有為な人材育成を目指す教育環境に取り組む。

「重層的支援体制整備」への構築と「加齢性難聴」への支援体制を

問宮 国が掲げる「重層的支援体制」の構築にどのように取り組んでい

くのか。

また、加齢性難聴が認知症や引きこもり等の要因ともなっているが、症状改善のため「補聴器購入補助制度」の創設も検討すべきではないか。



重層的支援体制整備事業(全体)

制度の拡充も検討する

町長 既存の支援体制の機能強化を図りながら、本町の実情にあった取り組みを行っている。

加齢性難聴は、効果的な補聴器利用を含め

た支援体制について他の自治体の導入効果等を参考に研究する。

- その他の質疑
- 体験型英語教育の充実
- 職員のマネジメント能力を発揮させるための環境整備は

※重層的支援体制整備とは？

厚生労働省は令和3年4月「重層的支援体制整備事業交付金」の創設に伴い、「8050問題」や「ダブルケア」など地域住民の複合・複雑化した支援ニーズに対応する断らない包括的支援体制を深化させるとしている。

8050問題 「80代の親が50代の子どもを生活を支えるために経済的にも精神的にも負担を負う社会問題」

ダブルケア 「子育てと親の介護を同時に抱える社会現象」



1 どうする町内商店街の活性化 2 温泉施設の整備が必要 3 子どもの遊び場を どう考える



柴田伸也議員



商店街の活性化を

1 商店街に活力を

柴田 人口減少、事業承継問題、大型店の出店等で町中心部の多くの商店は疲弊している。アスモを含め商店街への活性化策は。

アスモ再生が不可欠

町長 町では商工会と連携して飲食店や事業者へ交付金等を活用し、数年にわたり、支援策を展開してきた。

2 温泉施設が必要

商店街の活性化は、アスモの再生なくして果たせないと考えており、商業、コミュニティ両機能をどう将来につなげていくか、取りまとめる必要がある。

3 子どもの遊び場を

柴田 多くの方から「町中心部に温泉施設を」との声が聞かれる。今後、整備する計画はあるのか。

検討していく

町長 現総合センターの「二の宮の湯」の代替えとして、温泉入浴施設の整備を検討していく。今の段階では、次期総合センター建設後を目途と想定しているが、具体的な構想等は定まっていない。今後、様々な課題を整理しながら、検討していく。



「二の宮の湯」

3 子どもの遊び場を

柴田 子どもは町の宝。町内には子供の遊び場が少ない。今後整備する計画はあるのか。

整備に努める

町長 子育て世代の方から「町内には本格的な遊具を備えた子供たちの遊び場が不足している」との声を多数聞いている。当町では、

通年で利用できる屋内施設の必要性、重要性は高い。
具体的な計画はこれから整理するが、既存施設の活用も含め、子ども達が生き生きと活動できる空間の整備に努めていく。

柴田 町の機能を強化する政策は、まちづくりを進めていくうえで重要である。町長は地域の未来像を町民に対して、しっかりと説明していくことが必要と考える。



今後整備を求める

1 今年度の農業情勢について 2 クーリングシェルターについて



えん どう かず ひこ
遠藤 和彦 議員



暑さに強い雪若丸の刈り取り

1 小国の米不足の状況は

遠藤 地域によっては米不足のようであるが、本町の状況は。

新米の入荷を待つてほしい

町長 町内の米を取り扱っている6店舗では、

いずれも店頭販売はない。入荷の見通しもたっていないため、新米の入荷を待つしかないとのことである。

猛暑に耐える米は

遠藤 高温に耐える品種にどれだけ転換されたか。

雪若丸の作付け増加

町長 山形県全体で500ha増加し、本町の生産者に約2.5haが追加で配分された。品種の転換とあわせ、栽培技術の普及も大変重要である。町としても関係機関と連携を図り、栽培技術の普及啓発に取り組んでいく。

10年後の農業の姿が見えているか

遠藤 10年後の担い手を見込むことが困難ではないか。また、国で進めている地域計画の進捗状況と農業の将来像を描くことが出来ているか。

町長 本町で令和5年度から準備作業を開始している現行の「人・農地プラン」と同様に、北部地区、北東部地区、東南部地区、東部地区、

南部地区を「地域計画」の区域に設定した。関係機関にも参加をいただき、地域の農業の現状と課題、農用地の現状などについて協議している。現時点では10年後の担い手を見込むことは困難である。

2 クーリングシェルターの運用は

遠藤 町のクーリングシェルター（指定暑熱避難施設）は役場、健康管理センター、白い森アスモと伺っている。町民の利便性を考慮し、地域の公民館をクーリングシェルターとして利用できないか。

町長 クーリングシェルターはいずれも町中心部にあるので、公共施設の調整を図り増やしていきたい。



1 温身の郷の 統合について



こばやし よしみ
小林 嘉 議員

温身の郷の利用状況は

小林 現在の利用状況について聞きたい。

入所者が減少している

町長 本年4月から8月までの入所者は1日平均22人、短期入所者は3人、併せて25人である。前年度の1日平均入所者は35人なので、10人減少しており、これまでにない減少傾向が続いている。

減少要因は三点。人口減少により要介護者も減少していること。町内に有料老人ホームなどが整備されたことや、訪問看護などの在宅サービスが充実し、入所申込者が減少していること。令和5年度は他施設への入所が多かったことなどが挙げられる。

施設運営の課題は何か

小林 将来共に利用できる環境づくりの課題は何か。

医療・介護需要のミスマッチ、スタッフの減少、機能転換が必要

町長 町民や利用者のために入院・入所機能を持続可能な形で提供することを基本とする。

人的配置や施設再編、経営効率化が不可避であることから、町立病院、温身の郷、訪問看護ステーションの3施設を一体的に捉え検討した。その結果、医療・介護需要とのミスマッチがあり、入院・入所の稼働率向上と機能転換が課題であった。対策として、町立病院の病床を療養病床に転換すること、温身

の郷の入所機能を移転させ病院併設型小規模介護医療院を開設する。

これら具体的な機能転換策を盛り込んだ「経営強化プラン」を取りまとめた。

サービスはどのような

小林 利用者の福祉向上につながるのか。

持続できる施設になる

町長 機能移転により、高齢化の進行への対応と在宅支援を維持充実させる。また、医療・介護スタッフの勤務態勢を1つの施設として編成することで効率

的・持続的なサービスの提供を目指す。なお、通所リハビリは継続して実施する。



機能転換を図る「温身の郷」

広聴広報常任委員会

議会広報クリニック

とき 令和6年7月17日

ところ 山形市 山形国際交流プラザ

広報紙名 まかい 小国町議会(25号) 第16号

Good!
 写真・画像の切り取りを
 丁寧に行な
 読者に利便性の高い
 版割りを心がける

問題なし。
 写真はキレイだから
 使いにくい
 (紙の質も少し悪い)

関連画像への誘導を要す
 (住居は写真内場所)

広報紙名 まかい 小国町議会(25号)

Good!(25号)
 ・2Pの小見出し
 空欄をのりしろを
 確保
 定価を掲載して
 活動費の目安
 定価を可決した
 議案の採決結果

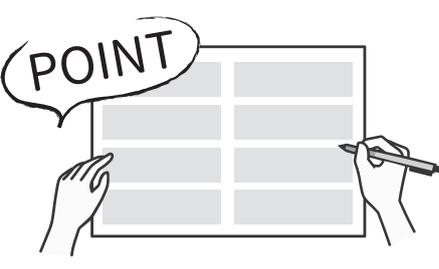
Advice!
 ・2Pの小見出し
 令和6年度予算の
 見出しの下
 3Pの一般歳入歳出
 予算の採決結果を記載
 ↓
 (採決結果の採決結果を
 記載)
 ↓
 (1Pの小見出し)

フロント種類がいろいろある!
 X11ハリを7行すること

Advice!
 ・本紙の住居写真の
 建設費を
 平成28年1/2と
 一般歳入歳出予算の
 主目1/2を
 小国町議会に
 ↓
 2Pの小見出し
 採決結果を
 採決結果を
 ↓
 3Pの小見出し
 採決結果を
 採決結果を

レイアウトはX → 一考する。視線の流れがわからない。→ジグザグにパスして1つ1つに決める。

全国広報コンクール広報紙部門
 審査委員を務める長岡光弘氏から、
 小国町を含む9町村の議会広報誌
 のクリニックを受けました。
 住民視点での情報発信を基本に、
 作り手・読み手の視点を考えての
 紙面づくりを心がけてまいります。



議会運営委員会

置賜3市5町

議会連絡協議会定例総会

とき

令和6年7月10日

ところ

飯豊町総合センターあさす

演題

カーボンニュートラルの実現

「やまがたモデル」の構築について

講師

飯豊町地域おこし協力隊

SDGs推進員

後藤 武蔵氏

ゼロカーボン推進委員

小野 優太郎氏



「小国町議会だより」に **広告** を載せてみませんか？

当議会だよりに掲載する有料広告の募集を開始いたしました。
現在、年に4回（1月、4月、7月、10月）全戸配布をしております。
掲載をご希望の方は、下記連絡先へご連絡ください。

種類	サイズ		金額/回
1種	横8.7cm	縦5.3cm	6,000円
2種	横17.85cm	縦5.3cm	10,000円
3種	横17.85cm	縦11.5cm	30,000円

有料広告
募集中



問い合わせ先 議会事務局 ☎0238-62-2448

がんばっています!!



プロフィール

氏名 奥山 美加
住所 小国小坂町
仕事 整体・エステ・リンパマッサージ
家族構成 主人と二人暮らし

Q 出身地はどこですか。

A 韓国ソウルです。

Q 小国に来てからのエピソードを聞かせてください。

A 小国に嫁いできたころアスモでたくさんのお年

寄り知り合いになりました。数日間買物に行かないと、韓国に帰ったんじゃないかと心配されていたようです。再び会った時には「居だかな」といわれたことが何度かありました。

Q 小国町の印象はどうですか。

A 親戚や、近所の人が多いいろいろなものを持ってきてくれます。とても親切な人が多いと感じています。



▶ 施術の様子

私もそれに比べられるように、韓国料理のおすそ分けをしています。韓国料理はとも体に良いので皆さんに食べてもらいたいです。

Q エステを始めたきっかけは何ですか。

A 23歳の時、骨格セラピストの資格を取り韓国でお店を開いた経験があります。日本に来て、平成26年に自宅にオープンしました。お薦めしたいエステは出産ケア、リンパつまり、便秘・むくみの解消です。

施術が終わると「天国だー」と喜んでくれます。

Q 趣味が多いようですね

A 生け花、陶芸、書道をやってきました。まだまだいろいろなことをやっていきたいです。



▶ 花を活けた手作りの花器

Q 町に望むことはありますか。

A 体を温めることは健康につながります。温泉施設は継続していただきたいです。

Q 将来の夢はありますか。

A エステと韓国料理のお店を開き、便秘と肩こりを無くし皆さんの健康を支えていきたいです。

ありがとうございました。
(文責 伊藤)

次は12月定例会です。傍聴にお申し込みください。

編集後記

「米不足は解消されるのか」収穫の秋を迎え小国町では稲刈りが終わろうとしている。2023年の不作の影響が出てきた形になっている。さらには、マスクミが取り上げたことから、一般消費者の買い増し行動に繋がったのではないかと。

米価の値上げも話題になっている。日本人はお米が主食であり、おいしいお米が食べ続けられるように、農家の適正な収入と努力が報われる流通の仕組みと、農業政策を行っていただきたい。

伊藤(記)

発行責任者

議長 安部 春美
広聴広報常任委員会

委員長 伊藤 弘行
副委員長 石山久美子
委員 柴田 伸也

委員 間宮 尚江
小関 和好
遠藤 和彦